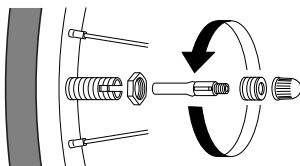


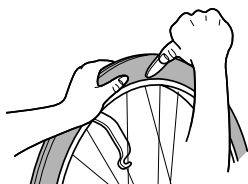
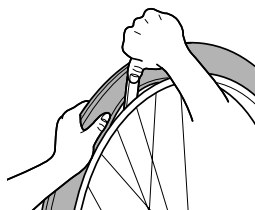
自転車用タイヤ・チューブ取り付け説明書

取り外し方

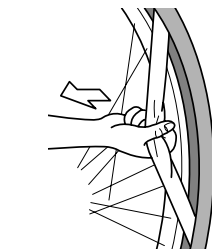
1. バルブのナットなどをすべて取り外す。



2. タイヤレバーを差し込み、片側のタイヤビードを車輪から外し、タイヤレバーをスポークに止める。



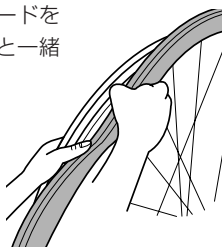
3. 2本目のタイヤレバーを差し込んで、さらにタイヤビードを外しスポークに止める。1本目のタイヤレバーを抜いて、2本目のタイヤレバーの先に差し込んでこの操作を何度か繰り返す。(タイヤレバーでタイヤ、チューブを傷つけないように注意する)



4. ある程度タイヤを外したら、レバーを使わずに、指を差し込んで外す。

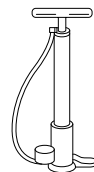
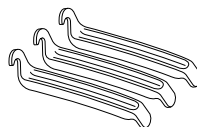
5. 片側が全部外れたら、バルブの部分を残してチューブを取り出す。

6. 最後に、残った側のタイヤビードをこねるようにして、チューブと一緒に車輪から取り外す。



準備する道具

- タイヤレバー (2~3本) ● ポンプ



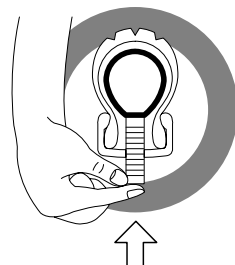
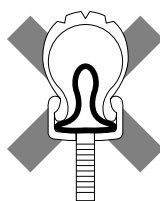
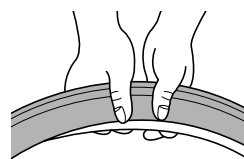
取り付け方

1. チューブのバルブを車輪の穴に通し、片側のタイヤビードをすべて車輪にはめる。



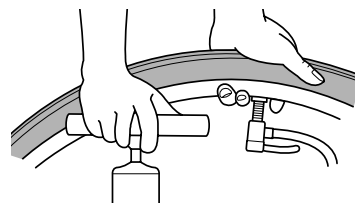
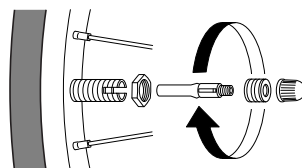
2. チューブをタイヤの中に入れる。

3. 残った側のタイヤビードを、バルブの反対側(上下)から順にはめていく。最後がきつい場合は、タイヤレバーを使用する。



4. チューブが車輪とタイヤビードの間にはさまれないように、バルブを上下に動かして調整する。

5. バルブのナットなどをはめる。



6. 空気を少し入れ、タイヤが車輪に均一に収まっているかを確認する。
(均一でない場合は、一度空気を抜き手でもんでやり直す)
最後に空気を十分入れて、キャップをしめて終了。

自転車用タイヤ・チューブ使用上のご注意

1. タイヤ組み付け時の注意

- ⚠️**注意** (1) チューブ・リムバンド及びリムはタイヤに適合するサイズを使用してください。
- (2) タイヤのリム組みや取り外しは、ドライバーなどの角張ったものを使用するとタイヤ・チューブを傷つけたりするため、必ず専用のタイヤレバーを使用してください。
- (3) リムバンドはリムのセンターにセットし、スポークの頭を完全にカバーするようにしてください。
- (4) タイヤはリム組み前に内側を点検し、異物などがいないことを確認してください。
- (5) リム組み後、タイヤとリムの間にチューブをかみ込んでいないか確認してください。
- (6) タイヤに空気を入れる場合は、徐々に標準空気圧まで入れてください。
- (7) リム組み後は標準空気圧の状態がタイヤが均一にセットされているか、リムとリムラインの間隔により確認してください。
- (8) リム組み時は、油やワックスなどは使用しないでください。

2. 走行前点検時の注意

- ⚠️**注意** (1) タイヤの空気圧はタイヤに表示された標準空気圧に充填してください。
- ※仏式及び米式バルブを使用しているタイヤは、タイヤゲージで測定してください。
- ※英式バルブを使用しているタイヤは、タイヤゲージで測定できませんので乗車したときの接地面長さで判断してください。接地面長さは9～10cmが適当です。
- (2) タイヤに釘やガラス片、その他の突起物が刺さっていないか、油が付着していないか確認してください。異物を発見したときは全て取り除いてください。

3. 走行時の注意

- ⚠️**注意** (1) 段差や突起物への乗り上げは、パンクの発生やタイヤを傷つける恐れがありますので避けてください。
- (2) 急ブレーキは偏磨耗につながりますので、非常時以外は避けてください。
- ⚠️**警告** (3) 積雪路及び凍結路での走行は事故につながりますので避けてください。
- 🚫**禁止** (4) 二人乗りはタイヤに過度の負担がかかり、損傷、パンクにつながりますのでおやめください。
- ⚠️**警告** (5) パンクした場合は事故や転倒の原因になりますので乗車は避けてください。

4. 使用限度または交換時の注意

次のような状態になったタイヤ・チューブは事故の原因につながる恐れがありますので、使用しないでください。

- (1) タイヤ ⚠️**注意** 1) 接地部の全周、全幅にわたってパターンの溝の深さが一部でもなくなったもの。
- 2) パターンの溝の深さがあっても、極端な偏磨耗、段付き磨耗など異常な磨耗があるもの。
- 3) 布層に達する外傷及び亀裂の発生したもの。
- 4) 糸切れ、剥離及びビード部に損傷を起こしているもの。
- (2) チューブ ⚠️**注意** 1) 傷、割れ、シワなどのあるもの。
- 2) バルブに変形、亀裂、錆のあるもの。

5. 保管時の注意

- (1) 直射日光を避け、紙、軟質プラスチックなどで包装してください。
- (2) 雨または水のかかる所を避けてください。
- (3) ストープ、その他の熱源に接近させないようにしてください。
- (4) 油類の多い所に接近させないようにしてください。
- (5) 電気火花の出る装置など、オゾンが発生しやすい所は避けてください。
- (6) 亀裂の原因になりますので、タイヤにシリコン系のワックスなどを塗らないでください。

6. タイヤサイズの見方

- (1) インチ表示サイズ
- | | 〔分数表示〕 | | 〔小数表示〕 |
|-----|--------------|----------------|--------------|
| (例) | 26 × 1 3/8 | | 26 × 2.125 |
| | └──────────┘ | タイヤ幅の呼び (インチ) | └──────────┘ |
| | └──────────┘ | タイヤ外径の呼び (インチ) | └──────────┘ |
- (2) フランスミリ表示サイズ
- | | | |
|-----|--------------|---------------|
| (例) | 700 × 25 C | |
| | └──┘ | 対応リム記号 |
| | └──────────┘ | タイヤ幅の呼び (mm) |
| | └──────────┘ | タイヤ外径の呼び (mm) |
- (3) ISOミリ表示サイズ
- | | | |
|-----|--------------|--------------|
| (例) | 37-630 | |
| | └──┘ | リム径の呼び (mm) |
| | └──────────┘ | タイヤ幅の呼び (mm) |